

事実と意見を読み分ける

つかえる国語 五年

ーまい目 きそ

言葉のきまりをたしかめる

1 2 3 4

めやす10分

答え

名前

1 次のア～エのうち、書いた人の「意見」を表している文を一つえらびましょう。

ア 駅前の花だんに、チューリップが植えられている。

イ 今年から、そうじの時間が五分長くなった。

ウ もっと多くの人に、この取り組みを知ってほしいと思う。

エ 集会は、来週の水曜日に開かれる。

答え

ウ

2 ア・イにあてはまる文末の言葉を「である・と思う」からえらんで書きましょう。

このプールは、市内で一番広いア。

この取り組みは、来年も続けるとよいイ。

ア である

イ と思う

3 事実を伝える文の終わり方を、ア～エから二つえらびましょう。

ア だ。

イ ーと思う。

ウ ーではないだろうか。

エ ーである。

答え

ア

答え

エ

4 次の文に続く一文として、書いた人の意見にあたる文を、ア～エからえらびましょう。

委員会の取り組みで、あいさつをする人がふえた。()

ア あいさつをした人は、先月より十二人多かった。

イ この調子で、みんなにも広めていきたい。

ウ 委員会の集合時刻は、朝七時四十五分だ。

エ あいさつ運動は、四月から始まった。

答え

イ

事実と意見を読み分ける

つかえる国語 五年

2まい目 よみとる

文章と資料から読み取る

1 2 3 4

めやす15分

答え

名前

美化委員会いんかいは、学級新聞に取り組みの記事を書きました。

次の【新聞記事】と【回収量調べしゅうりょう】を読んで答えましょう。

【新聞記事】

①美化委員会いんかいは、四月から、ペットボトルキャップを集める活動を始めました。

②六年生の教室の前に、回収箱かいしゅうを置いています。

③四月は十二キログラムでしたが、九月には二十キログラムまで増えました。

④この調子で協力してくれる人がふえれば、来年はもっと多く集められると思います。

【回収量調べしゅうりょう】

月	回収量 しゅうりょう
4月	12kg
6月	18kg
8月	5kg
9月	22kg

1 美化委員会が始めた活動は、何ですか。

【新聞記事】から十六字で書きぬきましょう。

ペットボトルキャップを集める活動

2 【回収量調べしゅうりょう】から分かることを、ア～エから一つえらびましょう。

ア 回収量しゅうりょうは、四月から九月まで一度も減らなかった。

イ 回収量しゅうりょうは、四月より九月の方が多い。

ウ 回収量しゅうりょうが最も少なかったのは、六月だった。

エ 九月の回収量しゅうりょうは、三十キログラムをこえた。

答え

イ

3 【回収量調べしゅうりょう】の数字だけでは分からないことを、ア～エから二つえらびましょう。

ア 来月も回収量しゅうりょうがふえるかどうか

イ 四月の回収量しゅうりょうが何キログラムか

ウ 協力してくれる人がふえた理由

エ 六月の回収量しゅうりょうが何キログラムか

答え

ア

答え

ウ

4 【新聞記事】の①～④の中で、書いた人の意見が書かれているのは、どのだんらくですか。

番号で答えましょう。

答え

④

文末の言葉に注目しよう。

事実と意見を読み分ける

つかえる国語 五年

3まい目 かんがえる

くらべて筋道を立てる

1 2 3 4

めやす15分

答え

名前

りかさんは、駅前の花だんのボランティアについての投書の下書きを書きました。【下書き】と【編集委員のメモ】を読んで答えましょう。

【投書の下書き】

- ① わたしは、駅前の歩道にある花だんのボランティアに参加しています。
- ② 参加者は、四月は八人でしたが、九月には三人にへってしまいました。だから、わたしはこの活動をやめたほうがよいと思います。
- ③ みなさんも、ぜひ一度、花だんの様子を見に来てください。

【編集委員のメモ】

- ◎ 事実と意見が、はっきり分かれて書けているか
- ▲ ②の意見は、書いた事実に合わせているか、見直しましょう

1 この投書は、何のボランティアについて

書かれていますか。【投書の下書き】から十字で書きぬきましょう。

花だんのボランティア

2 ア～ウにあてはまる言葉を書きましょう。

考え方のとちゅう ②の文には、参加者がへったという ア と、活動をやめたほうがよいという イ の、両方が書かれています。

ア 事実

イ 意見

3 【編集委員のメモ】が「見直しましょう」と

言っているのは、①～③のどのだんらくですか。番号で答えましょう。

答え ②

メモの▲の指摘してきを読もう。

4 ②の意見を、書かれている事実に合わせて直します。よいものを、ア～エからえらびましょう。参加者がへったので、もっと呼びかけたいと思います。

イ 参加者がへったので、活動をやめたほうがよいと思います。

ウ 参加者は、四月から九月までふえ続けています。

エ 花だんの手入れは、来月で終わりです。

答え ア

事実と意見を読み分ける

つかえる国語 五年

4まい目 あらわす

考えと理由を文章で書く

1 2 3 4

めやす15分

答え

名前

五年一組は、ユニセフ募金^{ぼきん}の新聞記事の下書きを書きました。【下書き】と【先生のメモ】を読んで答えましょう。

1 【先生のメモ】が「見直しましょう」と言っているのは、①③のどのだんらくですか。番号で答えましょう。

答え

②

メモの▲の指摘^{してき}を読もう。

【下書き】

① 五年一組は、十月に、ユニセフ募金^{ぼきん}の呼びかけを行いました。

② 募金^{ぼきん}の金額は、一日目は三千二百円で、二日目は五千百円に増えたので、来月はもっとふえるはずです。

③ 募金^{ぼきん}は、来月も続ける予定です。

2 ②を、事実の文と意見の文に分けて書き直します。よいものを、ア～エからえらびましょう。

ア 一日目は三千二百円、二日目は五千百円でした。もっと多くの人に協力してもらえよう、来月も続けたいと思います。

イ 一日目は三千二百円で、二日目は五千百円に増えたので、来月はもっとふえるはずです。

ウ 一日目より二日目の方が、集まった金額は多かったです。

エ 募金^{ぼきん}は、来月も続ける予定です。

答え

ア

3 ②を書き直して、新聞記事の下書き全体を書き直しましょう。「もっと」という言葉を使い、八十字以内で書きましょう。

つかうことば

もっと

五年一組は、十月にユニセフ募金^{ぼきん}の呼びかけをしました。一日目は三千二百円、二日目は五千百円でした。もっと多くの人に協力してもらえよう、来月も続けたいと思います。

【先生のメモ】

○ 活動の内容と数字は、正確に書けています

▲ 事実と意見が、一つの文に混ざっているところを見直しましょう